

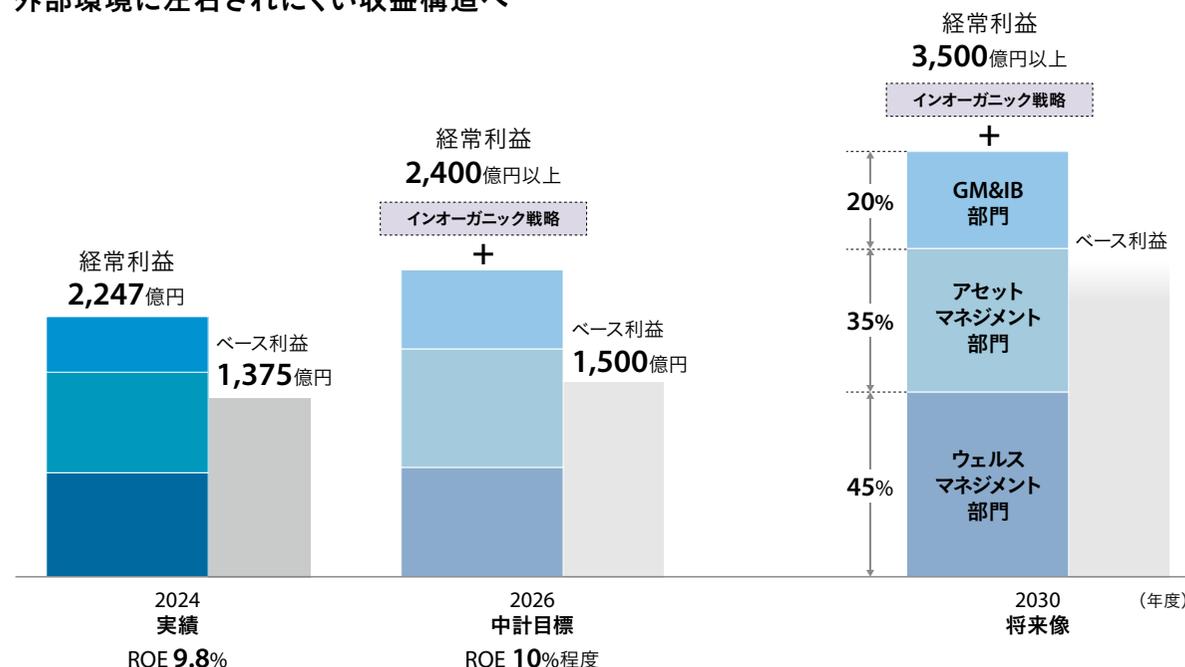
2030年度に目指す将来像 — 外部環境に左右されにくい収益構造へ

当社グループは外部環境に左右されにくい収益構造の構築を将来像として進めており、2030年度には経常利益3,500億円以上の達成を目指しています。この目標の実現に向けては、特定の部門に依存するのではなく、各部門がそれぞれ利益成長を図るとともに、インオーガニックな成長戦略を推進することで、より高いROE水準を持続的に実現していきます。

ウェルスマネジメント(WM)部門では、資産管理型ビジネスモデルへの転換を加速し、お客様からの預り資産に連動する残高ベース収益の拡大を目指します。アセットマネジメント(AM)部門においては、債券・株式・不動産に加え、オルタナティブファンドも含めた幅広い商品ラインナップの拡充を進め、運用資産残高の増加とアセットマネジメントビジネス基盤の強化を通じて、ビジネスの高度化と変革を推進します。

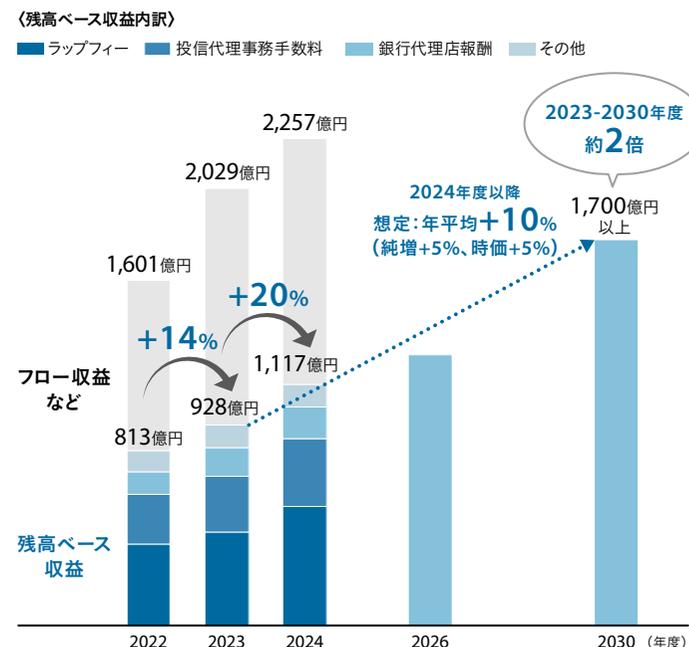
また、各ビジネスの資本収益性を厳格に精査し、不採算ビジネスの縮小・撤退を進めることで、成長ビジネスへの経営資源のリアロケーションと管理高度化を図っています。さらに、非連続な成長戦略を実現するため、外部有力企業との連携やM&Aなどのインオーガニック戦略も積極的に展開しています。

外部環境に左右されにくい収益構造へ



- ウェルスマネジメントビジネス強化：2030年度セグメント経常利益1,400億円、ウェルスマネジメント本部(大和証券)の経常利益1,100億円以上へ
- アセットマネジメントビジネス高度化・変革：2030年度AUM 60兆円以上へ
- 経営資源のリアロケーションと管理高度化
- 非連続な成長戦略の推進(外部連携・M&A・成長投資)

ウェルスマネジメント本部(大和証券)における成長イメージ



「お客様の資産価値最大化」に向けた 総資産コンサルティング